

# DENON<sup>®</sup>

## DP-500BT

Turntable with Bluetooth<sup>®</sup>

# 取扱説明書

フロント

リア



取り扱いについてのご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
注油について	4
付属品	5
各部の名前	6
フロント	6
リア	9
<b>準備する</b>	
組み立てる	11
ブラッターを取り付ける	12
カウンターウェイトを取り付ける	13
カートリッジ付きヘッドシェルを取り付ける	13
ダストカバーを取り付ける	14
調整する	15
針圧を調整する	15
アンチスケATINGを調整する	18

## 接続のしかた

PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する	20
PHONO 入力端子付きの機器を接続する	21
AC アダプターを接続する	22

## 再生のしかた

レコードを再生する	25
レコードを再生する	25
再生を終了する	27
オートストップ機能を使う	28
Bluetooth スピーカーやヘッドホンでレコードの音声を聴く	29
Bluetooth スピーカーやヘッドホンを初めて接続して再生する	29
ペアリング済みの Bluetooth スピーカーやヘッドホンで再生する	31
Bluetooth 接続中に再生する機器を切り替える	33



## こんなときの解決方法

目次	34
故障かな?と思ったら	35
電源が入らない / 電源が切れる	36
電源を切れない	36
プッターが回転しない	36
音がまったく出ない	37
音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る	37
ハウリングが生じる	38
トーンアームが途中で進まない	38
Bluetooth で再生できない	39

## 付録

レコード針の交換について	40
カートリッジの交換について	41
登録商標について	43
主な仕様	44



## 取り扱いについてのご注意

### お手入れについて

- キャビネットやダストカバーの汚れは、柔らかい拭き布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

### 結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1、2 時間放置してから使用してください。

### 注油について


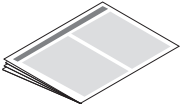
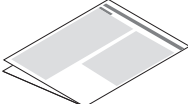
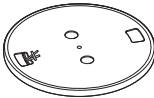
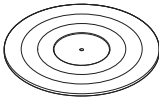
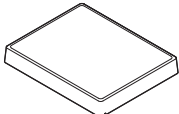
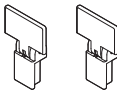
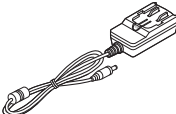




本機のモーターは、注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。



ご購入いただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

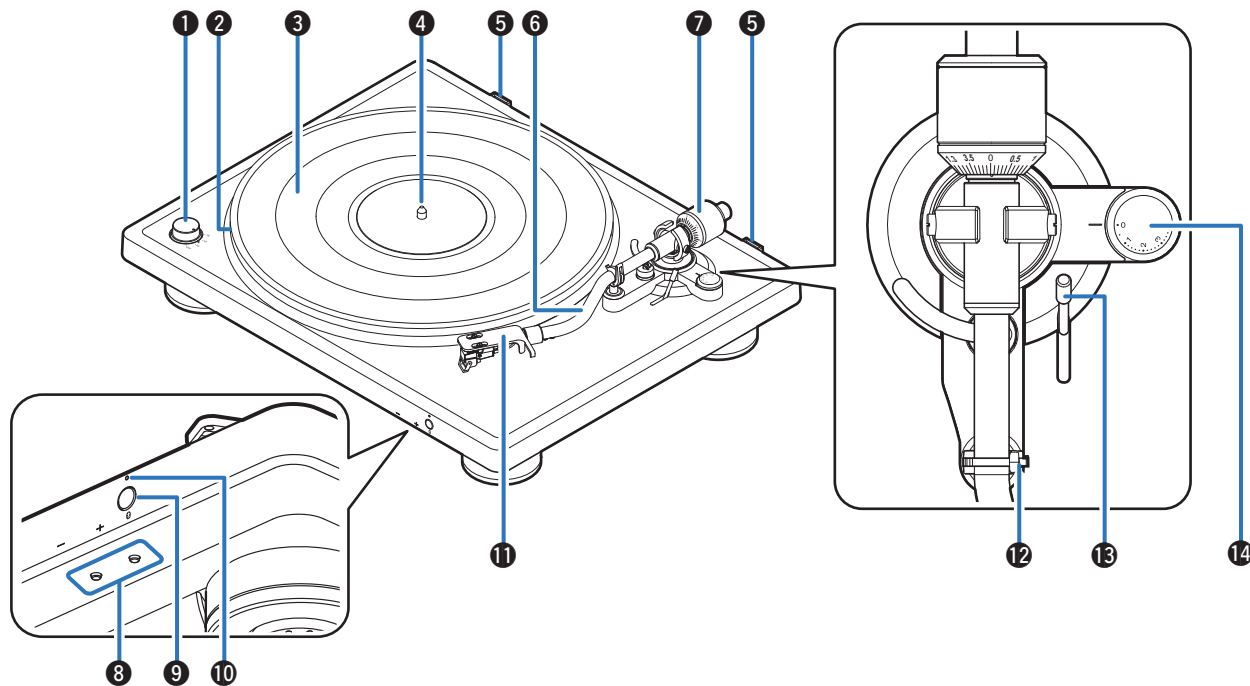
## 付属品

ご使用になる前にご確認ください。

 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>電波に関するご注意</p>	 <p>プラッター</p>	 <p>プラッターマット</p>
 <p>ダストカバー</p>	 <p>ヒンジ(2個)</p>	 <p>ACアダプター</p>	 <p>ACアダプタープラグ (6種類)</p>	 <p>オーディオケーブル</p>
 <p>カートリッジ付きヘッドシェル</p>	 <p>カウンターウェイト</p>	 <p>45回転レコード用 アダプター</p>		

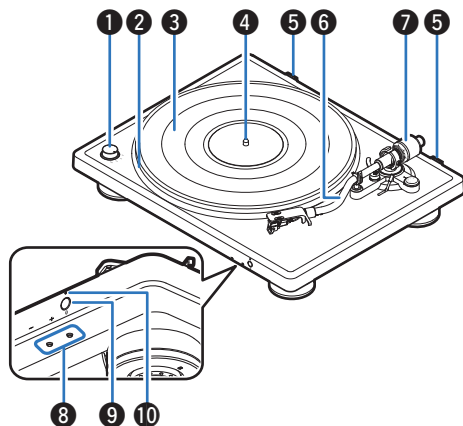
## 各部の名前

## フロント



詳しくは、次のページをご覧ください。



**① 回転数切り替えノブ**

再生するレコードに合わせて回転数を切り替えます。(P.25 ページ)

**② プラッター**

本体のセンタースピンドルに差し込んで取り付けます。裏側にベルトを装着しています。(P.12 ページ)

**③ プラッターマット**

プラッターの上に取り付けます。(P.12 ページ)

**④ センタースピンドル**

プラッターやレコードなどの中心穴を差し込みます。

**⑤ ヒンジホルダー**

付属のヒンジとダストカバーを取り付けます。(P.14 ページ)

**⑥ トーンアーム**

- 後部にカウンターウェイトを取り付けます。(P.13 ページ)
- 先端にカートリッジ付きヘッドシェルを取り付けます。(P.13 ページ)

**⑦ カウンターウェイト**

- トーンアームの後部に取り付け、針圧を調整します。
- 「カウンターウェイトを取り付ける」(P.13 ページ)
  - 「針圧を調整する」(P.15 ページ)

**⑧ Bluetooth 音量調節ボタン(+, -)**

Bluetooth の音量を調節します。(P.29 ページ)

**⑨ Bluetooth ボタン(Bluetooth 記号)**

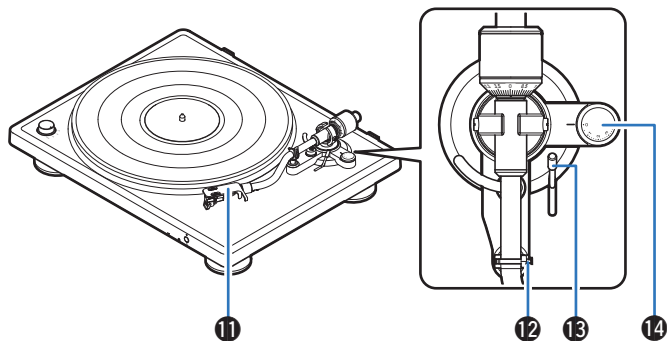
Bluetooth デバイスとペアリングするときに使用します。(P.29 ページ)

**⑩ Bluetooth 表示**

Bluetooth の接続状態に応じて、次のように点灯または点滅します。(P.29 ページ)

- 青色点灯: 接続済み(SBC)
- 紫色点灯: 接続済み(aptX/aptX HD/aptX Adaptive)
- 青色点滅: 接続中
- 赤色点灯: 待機中
- 赤色と青色で交互に点滅: ペアリング
- 赤色で 2 回点滅: ペアリング情報を消去中
- 消灯: スタンバイ時

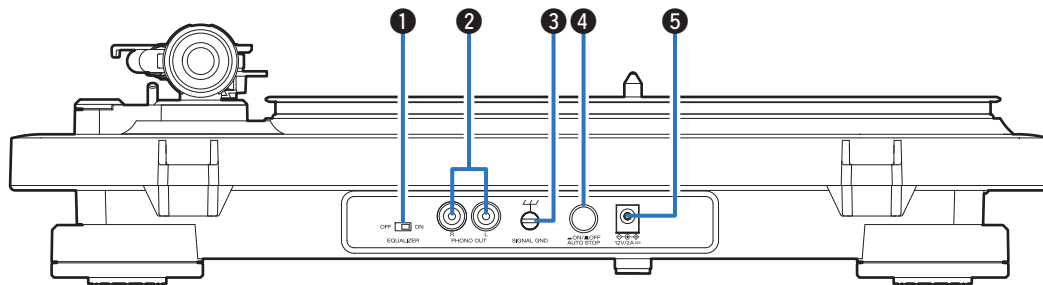




- ⑪ **カートリッジ付きヘッドシェル**  
トーンアームの先端に取り付けます。(P.13 ページ)
- ⑫ **アームレスト**  
レコードを再生しないときに、トーンアームを乗せます。
- ⑬ **リフターレバー**  
トーンアームを上げたり下げたりします。レバーを下げたときトーンアームはゆっくりと下がりますので、レコードやレコード針を傷付けることなく、レコード針を降ろすことができます。
- ⑭ **アンチスケーティングダイヤル**  
アンチスケーティングを調整します。(P.18 ページ)



## リア



### ① フォノイコライザーオン/オフ切り替えスイッチ (EQUALIZER ON/OFF)

本機に搭載したフォノイコライザー機能のオン/オフを切り替えます。接続するアンプやミニコンボが PHONO 入力端子を備えているかどうかに応じて、切り替えてください。

- 「PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する」(☞20 ページ)
- 「PHONO 入力端子付きの機器を接続する」(☞21 ページ)

### ② アナログ音声出力端子 (PHONO OUT)

外部音声入力端子または PHONO 入力端子付きの機器を接続します。

- 「PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する」(☞20 ページ)
- 「PHONO 入力端子付きの機器を接続する」(☞21 ページ)

### ③ アース端子 (SIGNAL GND)

本機と接続するアンプにもアース端子がある場合、付属のオーディオケーブルのアース線を使って接続します。(☞21 ページ)

### ④ オートストップオン/オフ切り替えボタン (AUTO STOP ON/OFF)

レコード再生終了時にトーンアームが自動的に上昇してターンテーブルの回転が止まる、オートストップ機能のオン/オフを切り替えます。(☞28 ページ)

### ⑤ AC アダプター入力端子

付属の AC アダプターを接続します。(☞22 ページ)



## ■ 目次

### 組み立てる

ブラッターを取り付ける	12
カウンターウェイトを取り付ける	13
カートリッジ付きヘッドシェルを取り付ける	13
ダストカバーを取り付ける	14

### 調整する

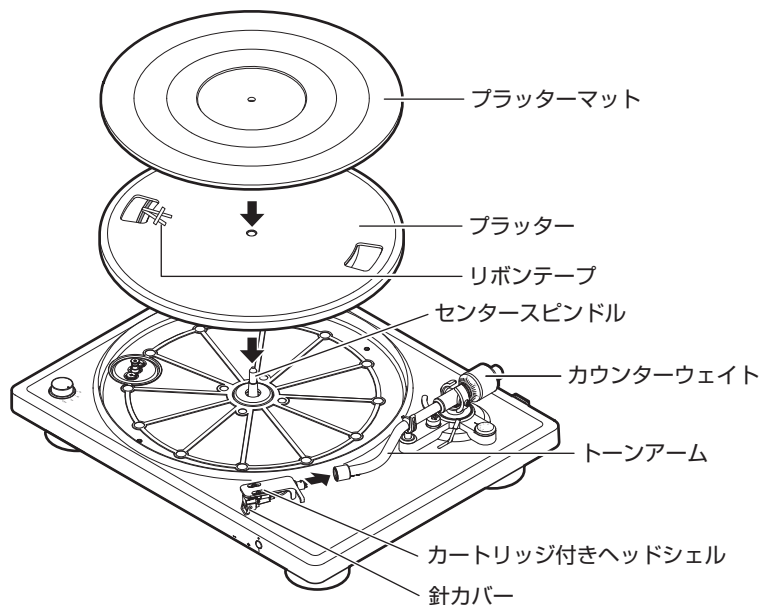
針圧を調整する	15
アンチスケーティングを調整する	18



## 組み立てる

お使いになる前に、付属の各部品を本機に取り付けてください。

レコードプレーヤーは振動や傾きに影響を受けやすいため、あらかじめ安定した水平な場所に本機を設置してください。



### ご注意

- 組み立ての際には、AC アダプターを本機とコンセントに接続しないでください。



## プッターを取り付ける

### 1 プッターの中心の穴をセンタースピンドルに差し込む。

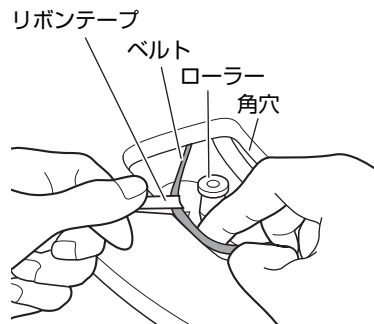
#### ご注意

- センタースピンドルの周囲に異物が無いことを確認してから、プッターを取り付けてください。

### 2 プッターを回して、リボンテープがある方の角穴から本体のローラーが見える位置に合わせる。

### 3 リボンテープをつまんで引っ張り、ベルトをローラーに掛ける。

- ベルトを掛けたら、リボンテープは取り除いてください。



- ベルトを掛ける際に、ベルトをひねらないようご注意ください。
- リボンテープはベルト交換の際に必要になりますので、お使いになったあとは無くさないよう保管してください。

### 4 プッターマットをプッターの上に取り付ける。

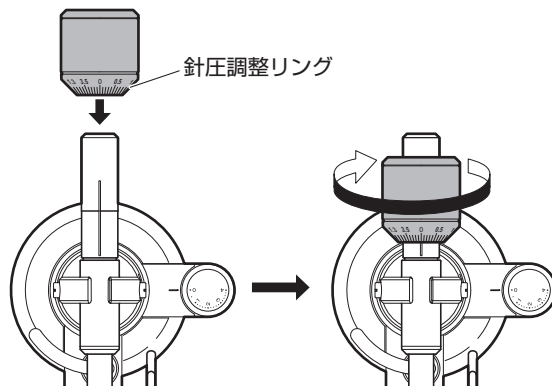


- DENON ロゴの表示がある面を下にして取り付けてください。



## カウンターウェイトを取り付ける

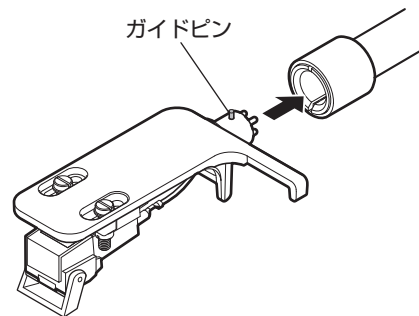
- 1 トーンアームの後部の軸にカウンターウェイトを差し込み、軽く押しながら矢印の方向に回して取り付ける。



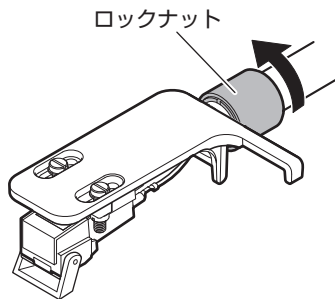
- カウンターウェイトの針圧調整リングを前方に向けて取り付けてください。

## カートリッジ付きヘッドシェルを取り付ける

- 1 ヘッドシェルをトーンアームの先端に差し込む。
  - ヘッドシェルのガイドピンを上に向け、トーンアーム先端のくぼみに合わせて差し込んでください。



## 2 ロックナットを矢印の方向に回して、ヘッドシェルを固定する。

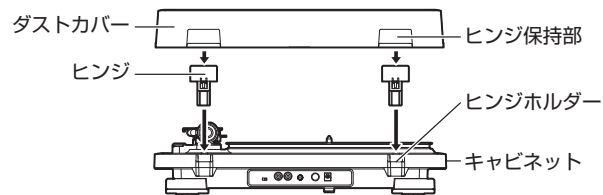


### ご注意

- 針先保護のため、カートリッジの針カバーは下げたままおこなってください。
- ヘッドシェルやトーンアームの端子が汚れている場合、音質に影響することがありますので定期的に清掃するなどして清潔に保ってください。

## ダストカバーを取り付ける

### 1 付属のヒンジ(2個)をキャビネット後部のヒンジホルダーにしっかり差し込む。



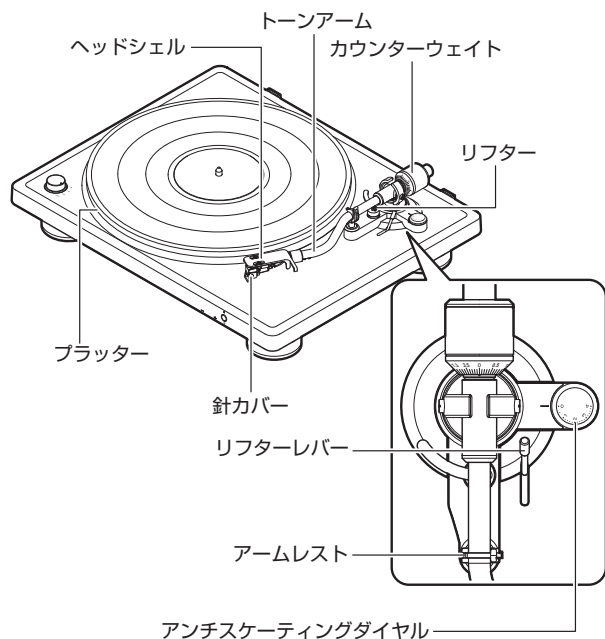
### 2 ダストカバーのヒンジ保持部をヒンジに取り付ける。



- ダストカバーの取り付けや取り外しの際は、ヒンジ保持部付近に手を添えておこなってください。



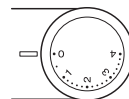
## 調整する



### 針圧を調整する

レコード針がレコードの溝をなぞって音(振動)を拾うためには、一定の圧力(針圧)を針先からレコードにかける必要があります。針圧はカートリッジごとに適正な数値が決まっています。決められた針圧より高すぎたり低すぎたりすると、レコード再生の際に音が歪んだり針飛びしたりしてしまうだけでなく、レコード針の摩耗を早めてしまったり、レコードを傷つけてしまうおそれもありますので、必ず適正な数値に調整してください。

- 1 アンチスキッピングダイヤルの目盛りを“0”に設定する。



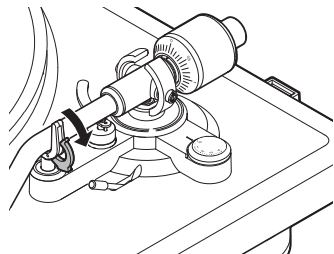
- 2 リフターレバーを下げる。

#### ご注意

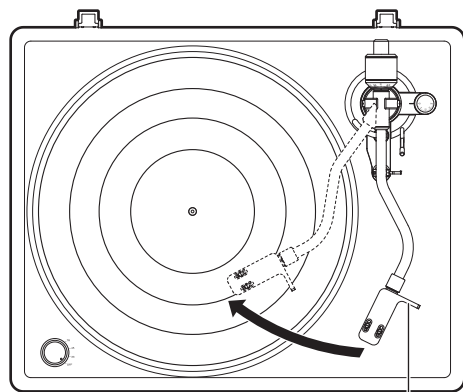
- 調整の際には、ACアダプターを本機とコンセントに接続しないでください。



### 3 アームレストのロックを外す。



### 4 ヘッドシェルの指掛けを持ち、プлатターの上まで移動させる。



指掛け

#### ご注意

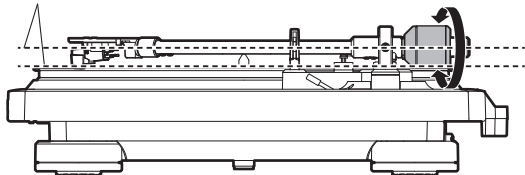
- 針先保護のため、カートリッジの針カバーは下げたままおこなってください。



## 5 トーンアームとプラッターが平行になるよう、カウンターウェイトを回して調整する。

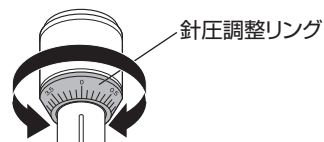
- カウンターウェイトを少しずつ回し、手を離して確認しながら調整してください。

平行にする

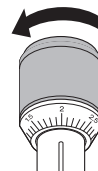


## 6 トーンアームをアームレストに戻す。

## 7 カウンターウェイトが動かないように指でおさえながら、針圧調整リングの“0”の目盛りをトーンアーム上の線に合わせる。



## 8 カウンターウェイトを矢印の方向に回し、針圧調整リングの“2”の目盛りをトーンアーム上の線に合わせる。

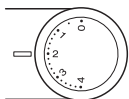


- 本機に付属するカートリッジの適正針圧値は、2.0g です。

## アンチスケーティングを調整する

アンチスケーティングの調整は、レコードの回転によって針先が内側に引っ張られる力を打ち消すためにおこないます。

- 1 アンチスケーティングダイヤルを回し、“2” に合わせる。



- アンチスケーティングの値は針圧値と同じにしてください。



## ■ 目次

PHONO 入力端子が付いていない機器を接続する	20
PHONO 入力端子付きの機器を接続する	21
AC アダプターを接続する	22

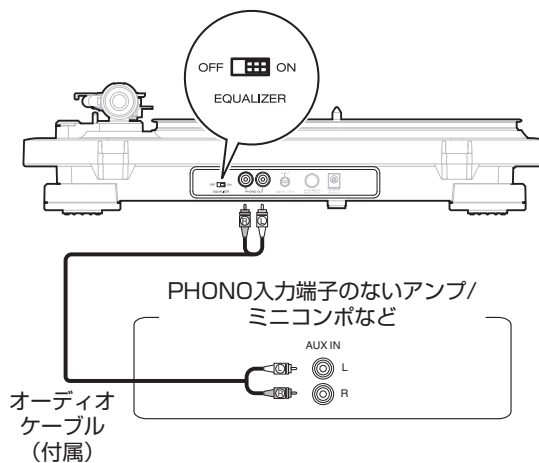
### ご注意

- すべての接続が終わるまで AC アダプターをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、AC アダプターのコードと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。



## PHONO入力端子が付いていない機器を接続する

本機はフォノイコライザーを内蔵していますので、フォノイコライザーを内蔵していないアンプやミニコンボなどの外部音声入力端子と接続して、レコード再生をお楽しみいただけます。フォノイコライザーを内蔵していない機器と接続する場合は、本機の EQUALIZER ON/OFF スイッチを“ON”に設定してください。

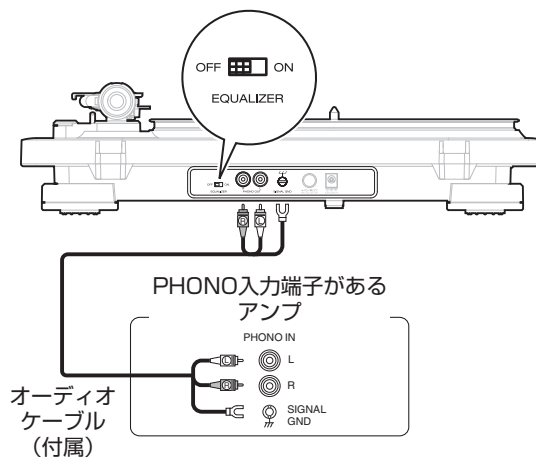


- 付属のオーディオケーブルに付いているアース線は邪魔にならないよう、オーディオケーブルを留めているビニールタイなどでケーブルに固定しておくことをおすすめします。
- EQUALIZER ON/OFF スイッチを正しく設定しないと音が極端に小さかったり、歪んだりします。
- 内蔵のフォノイコライザーは MM カートリッジにのみ対応しています。MC カートリッジは MM カートリッジに比べ出力電圧が低くなります。市販の MC カートリッジを取り付けてお使いの場合、EQUALIZER ON/OFF スイッチを“OFF”に設定してください。また、昇圧トランスやヘッドアンプなどのご使用をおすすめします。



## PHONO入力端子付きの機器を接続する

本機をフォノイコライザーを内蔵した機器と接続する場合、接続した機器側のフォノイコライザーを使ってレコード再生をお楽しみいただけます。本機の EQUALIZER ON/OFF スイッチを“OFF”に設定し、フォノイコライザーを内蔵した機器の PHONO 入力端子と接続してください。



- 本機に接続する機器がアース端子を搭載している場合、オーディオケーブル(付属)のアース線を使って本機のアース端子(SIGNAL GND)と接続してください。再生時のノイズが少なくなることがあります。
- EQUALIZER ON/OFF スイッチを正しく設定しないと音が極端に小さかったり、歪んだりします。
- 接続するアンプによっては、Bluetooth 再生時の音量が変動する場合があります。

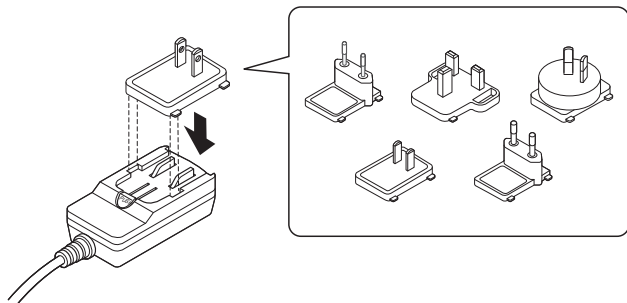


## ACアダプターを接続する

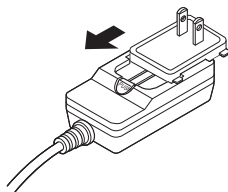
すべての接続が完了したら、ACアダプターをコンセントに差し込みます。  
あらかじめ、お使いのコンセントに適した交換プラグを図のように取り付けてください。

### 【ACアダプター交換用プラグの取り付けかた】

1. 下図のように、ACアダプター交換用プラグの下側の突起をACアダプターの溝に差し込む。

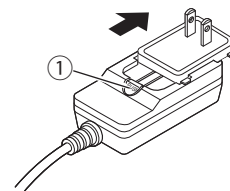


2. カチッと音がするまで矢印の方向へ押し込む。

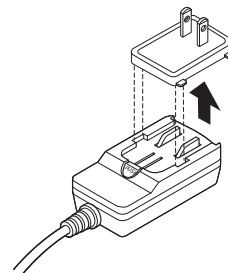


### 【ACアダプター交換用プラグの取り外しかた】

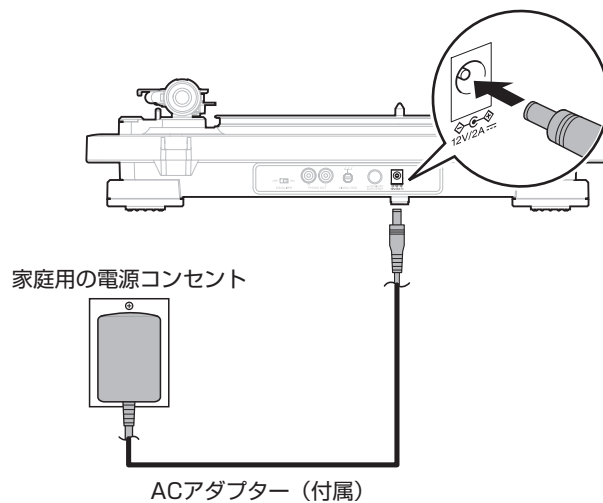
1. ① ボタンを押しながら、ACアダプター交換用プラグが止まるまで矢印の方向へスライドする。



2. ACアダプター交換用プラグが止まったら、矢印の方向へプラグを引き上げる。



## ■ ACアダプターの接続のしかた



### ご注意

- 本機に接続した AC アダプターのプラグをコンセントに差し込むと、本機の電源が入ります。
- 長期間の外出やご旅行の場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

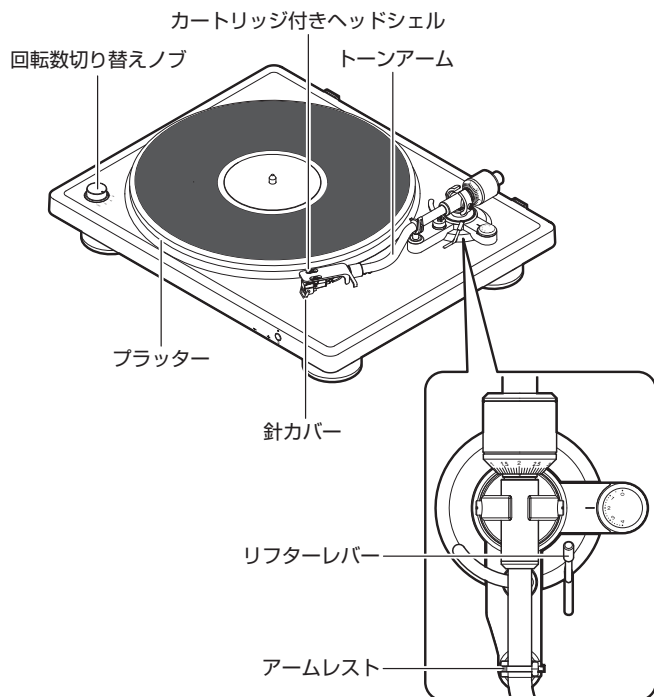


## ■ 目次

レコードを再生する	25
Bluetooth スピーカーやヘッドホンでレコードの音声を聴く	29



# レコードを再生する



## レコードを再生する

### 1 レコードをプラッターマットの上に載せる。



- EPレコード(ドーナツ盤)を再生するときは、あらかじめ45回転レコード用アダプター(付属)をセンタースピンドルに差し込んでください。

### 2 回転数切り替えノブを回して、プラッターの回転数をレコードの回転数に合わせる。

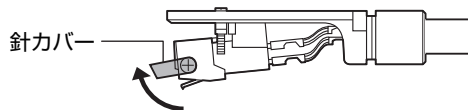
プラッターが回りはじめます。



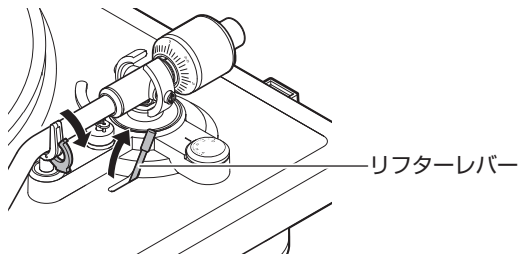
- プラッターの回転数は分速 33 1/3、45、78 回転のいずれかを選べます。
- レコードの回転数は通常、レコードのジャケットやレーベルに記載されています。
- 付属のカートリッジは SP 盤の再生も可能です。



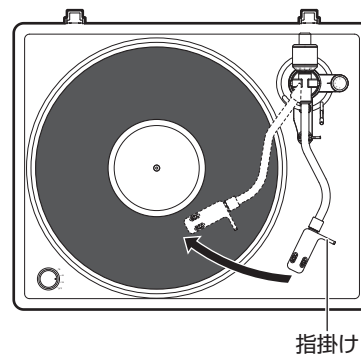
### 3 カートリッジの針カバーを上げる。



### 4 アームレストのロックを外してリフターレバーを上げる。

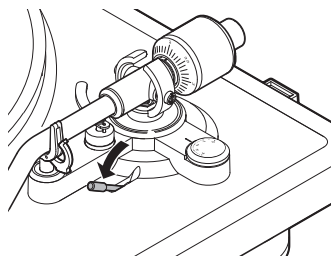


### 5 ヘッドシェルの指掛けを持ち、針先を再生したい曲の開始位置の直上に移動する。



## 6 リフターレバーを下げる。

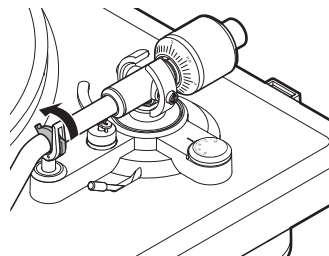
トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコードに降りて再生をはじめます。



- レコードに傷をつけないようご注意ください。
- 再生中は、次の点にごご注意ください。
  - トーンアームやプラッターに触れない。
  - 電源を切らない。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
- レコードを交換するときは、プラッターが止まってからおこなってください。
- プラッターの回転中にプラッターを手でおさえて回転を止めないでください。内部が発熱し、故障や火災の原因となることがあります。

## 再生を終了する

- 1 リフターレバーを上げる。  
トーンアームが上昇し、針先がレコードから離れます。
- 2 ヘッドシェルの指掛けを持ち、トーンアームをアームレストに戻す。
- 3 リフターレバーを下げる。
- 4 トーンアームをアームレストに固定する。



## 5 回転数切り替えノブを回して、OFF に合わせる。

プлатターの回転が止まります。

### ご注意

- カートリッジの針先保護のため、本機をお使いにならないときはカートリッジの針カバーを下げてください。



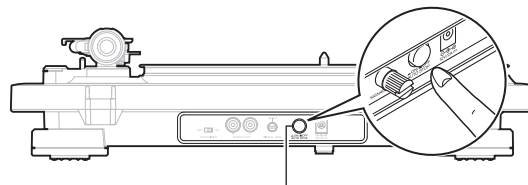
- プлатターが停止してから約 15 分後に Bluetooth 表示が消灯し、本機の電源がスタンバイになります。

## オートストップ機能を使う

オートストップ機能をオンにすると、再生終了したときにトーンアームが自動的に上昇し、プлатターの回転が止まります。レコード再生中に眠ってしまった場合などに、プлатターが回転し続けてレコード針が磨耗することなどなく、便利です。

- お買い上げ時の設定はオンです。

### 1 リアパネルの AUTO STOP ON/OFF を押して、オートストップ機能をオンにする。



AUTO STOP ON/OFF

- オートストップ機能をオンにする際には、AUTO STOP ON/OFF が確実に押し込まれていることを確認してください。

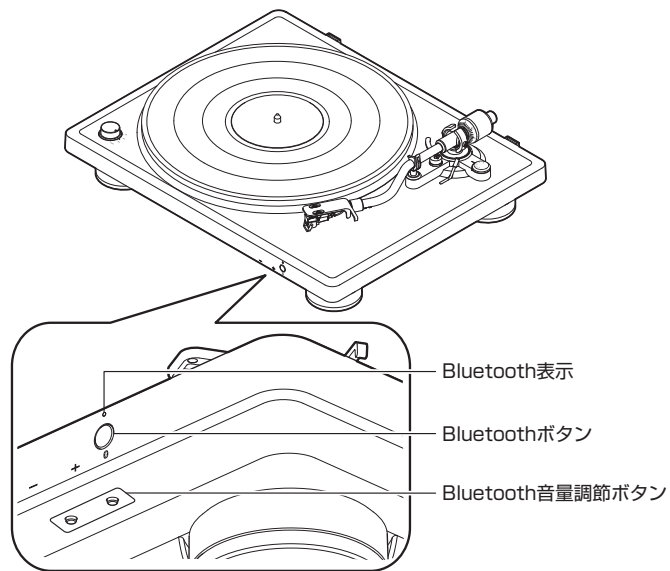


- プлатターの回転が止まってから約 15 分後に電源がスタンバイ状態になります。レコードの再生を再開する際は、回転数切り替えノブを操作してください。



## Bluetooth スピーカーやヘッドホンでレコードの音声を聴く

本機を別売りの Bluetooth スピーカーやヘッドホンなどと Bluetooth 接続すると、本機の Bluetooth 送信機能を使ってレコードの音声をワイヤレスでお楽しみいただけます。



### Bluetooth スピーカーやヘッドホンを初めて接続して再生する

本機と Bluetooth スピーカーやヘッドホンを初めて接続するときは、接続したい機器と本機をあらかじめペアリングする必要があります。ペアリングすると本機にペアリングした機器の情報が登録されますので、再度ペアリングする必要はありません。

- Bluetooth ボタン(Bluetooth 記号)を約 2 秒間長押しする。  
Bluetooth 表示が赤色と青色で交互に点滅してペアリングモードになります。

## 2 接続する Bluetooth 対応スピーカーやヘッドホンペアリングモードにする。

Bluetooth 表示が青色で点滅して本機とのペアリングが完了したのち、Bluetooth 接続します。Bluetooth 接続すると、Bluetooth コーデックに合わせて次の色で点灯します。

- 青色：SBC
- 紫色：aptX/aptX HD/aptX Adaptive



- ペアリングモードにする方法については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続した Bluetooth スピーカーやヘッドホンが aptX、aptX HD または aptX Adaptive のいずれかに対応している場合、対応している aptX 系列のコーデックで自動的に接続します。aptX 系列のコーデックに複数対応している場合、aptX Adaptive→aptX HD→aptX の順で優先的に自動接続します。

## 3 「レコードを再生する」(P25 ページ)の手順 1~6 をおこなってレコードを再生する。



- 接続する機器によってはペアリングに時間が掛かる場合があります。
- 本機は最も近くにある Bluetooth スピーカーやヘッドホンと接続します。ペアリングモード時に約 3 分間 Bluetooth スピーカーやヘッドホンを検出できない場合、Bluetooth 表示が赤色で点灯し、Bluetooth 接続待機モードに切り替わります。
- 本機は最大 8 台の Bluetooth スピーカーやヘッドホンとペアリングできます。9 台目の機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth 音量調節ボタン(+, -)を同時に約 10 秒間長押しすると、Bluetooth 表示が赤色で 2 回点滅し、本機に登録されたペアリング機器の情報をすべて消去します。
- Bluetooth 接続時も PHONO OUT 端子から音声信号を出力します。

### ご注意

- レコード再生中に Bluetooth ボタン(ⓧ)を押すと、その振動により針飛びするおそれがあります。レコードを再生する前に、Bluetooth 接続することをおすすめします。



## Bluetooth の音量を調節する

### 1 Bluetooth 音量調節ボタン(+, -)を押して Bluetooth の音量を調節する。



- Bluetooth スピーカーやヘッドホンの音量調節機能を使用して音量を調整することもできます。

#### ご注意

- MC カートリッジ使用時は Bluetooth 出力レベルが MM カートリッジより小さくなります。
- 接続する機器の Bluetooth 規格によっては、音量調節できない場合があります。

## ペアリング済みの Bluetooth スピーカーやヘッドホンで再生する

本機とペアリング済みの Bluetooth スピーカーやヘッドホンに接続する場合、ペアリング操作することなく接続できます。

### 1 本機とペアリング済みの Bluetooth スピーカーやヘッドホンの電源を入れる。

### 2 本機の Bluetooth ボタン(Bluetooth 記号)を押す。

Bluetooth 表示が Bluetooth コーデックに合わせて次の色で点灯し、Bluetooth 接続します。

- 青色:SBC
- 紫色:aptX/aptX HD/aptX Adaptive



- 接続した Bluetooth スピーカーやヘッドホンが aptX、aptX HD または aptX Adaptive のいずれかに対応している場合、対応している aptX 系列のコーデックで自動的に接続します。aptX 系列のコーデックに複数対応している場合、aptX Adaptive→aptX HD→aptX の順で優先的に自動接続します。

### 3 「レコードを再生する」(P.25 ページ)の手順 1~6 をおこなってレコードを再生する。





- 本機は最も近くにある Bluetooth スピーカーやヘッドホンと接続します。Bluetooth 接続時に約 2 分間 Bluetooth スピーカーやヘッドホンを検出できない場合、Bluetooth 表示が赤色で点灯し、Bluetooth 接続待機モードに切り替わります。
- Bluetooth 接続時も PHONO OUT 端子から音声信号を出力します。

#### ご注意

- レコード再生中に Bluetooth ボタン(📶)を押すと、その振動により針飛びするおそれがあります。レコードを再生する前に、Bluetooth 接続することをおすすめします。

## Bluetooth の音量を調節する

### 1 Bluetooth 音量調節ボタン(+, -)を押して Bluetooth の音量を調節する。



- Bluetooth スピーカーやヘッドホンの音量調節機能を使用して音量を調整することもできます。

#### ご注意

- MC カートリッジ使用時は Bluetooth 出力レベルが MM カートリッジより小さくなります。
- 接続する機器の Bluetooth 規格によっては、音量調節できない場合があります。



## Bluetooth 接続中に再生する機器を切り替える

ペアリング済みの Bluetooth スピーカーやヘッドホンに切り替える場合は、Bluetooth 接続中の機器の電源を切ってから切り替える機器の電源を入れ、「ペアリング済みの Bluetooth スピーカーやヘッドホンで再生する」(P.31 ページ)の手順をおこなってください。

ペアリングをしたことが無い機器に切り替える場合は、Bluetooth 接続中の機器の電源を切ってから切り替える機器の電源を入れ、「Bluetooth スピーカーやヘッドホンを初めて接続して再生する」(P.29 ページ)の手順をおこなってください。



# 目次

---

## ■ 故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	36
電源を切れない	36
プラッターが回転しない	36
音がまったく出ない	37
音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る	37
ハウリングが生じる	38
トーンアームが途中で進まない	38
Bluetooth で再生できない	39



## 故障かな？と思ったら

---

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。



## 電源が入らない / 電源が切れる

### 電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(☞23 ページ)
- 電源がスタンバイ状態になっています。再生するレコードの回転数に合わせて、回転数切り替えノブを回してください。(☞25 ページ)

### 電源が自動的に切れる。

- プラッターが停止してから約 15 分後に Bluetooth 表示が消灯し、本機の電源がスタンバイになります。

## 電源を切れない

### 電源を切れない。

- 本機には電源スイッチがありません。長期間の外出やご旅行の場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

## プラッターが回転しない

### プラッターが回転しない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(☞23 ページ)
- ベルトがプラッターとローラーの両方に正しく掛かっているか確認してください。ベルトが外れているときは、次の手順で取り付けてください。
  1. プラッターを本機から外し、裏返す。
  2. プラッター裏側の内円部の外周にベルトを掛ける。
  3. プラッターを表にして角穴からプラッターとベルトの間にリボンテープを通す。
  4. 「プラッターを取り付ける」(☞12 ページ)を参照して、プラッターを取り付ける。



## 音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞ 19 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- アンプの設定を確認し、適切に調節してください。
- 交換針が正しく取り付けられているか確認してください。(☞ 40 ページ)
- フォノイコライザーを内蔵していないアンプやミニコンポなどを本機に接続してお使いの場合は、本機の EQUALIZER ON/OFF スイッチを“ON”に設定してください。(☞ 20 ページ)

## 音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る

音飛びを起こしたり、スクラッチノイズが生じたり、歪んだ音が出る。

- 針圧が適性針圧になっていません。正しく調節してください。(☞ 15 ページ)
- レコードに傷が付いていないか確認してください。
- レコードが反っていないか確認してください。
- 針またはレコードが汚れていないか確認してください。
- レコード針が磨耗していないか確認してください。磨耗していたらレコード針を交換してください。(☞ 40 ページ)



## ハウリングが生じる

ハウリングが生じる。

- 本機とスピーカーの位置が近すぎます。スピーカーを本機から離れた場所に設置してください。
- 本機が不安定な場所に設置されています。本機を安定した水平な場所に設置してください。
- 再生する音量が大きすぎます。本機に接続しているアンプの音量を調節してください。

## トーンアームが途中で進まない

トーンアームが再生中に進まなくなる。

- レコードに傷が付いていないか確認してください。
- トーンアームに何か当たっていないか確認してください。



## Bluetoothで再生できない

### 本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 接続したい Bluetooth 機器以外に電源がオンになっている Bluetooth 機器が周囲にある場合は、それらの機器の電源をオフにしてから再度接続をおこなってください。

### 音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

### 音量が小さい。

- 本機の Bluetooth 音量調節ボタンまたは Bluetooth 機器側で音量を調節してください。
- 市販の MC カートリッジを本機に取り付けてお使いの場合、音量が小さくなります。その場合、Bluetooth 機器側で音量調節することをおすすめします。



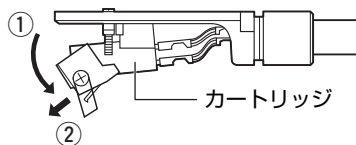
## レコード針の交換について

付属の針の寿命は約 400 時間です。大切なレコードをいためないよう、早めに交換してください。

交換針は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にて、本機専用交換針「DSN-85」をご指定のうえ、お買い求めください。

### ■ 交換針の取り外しかた

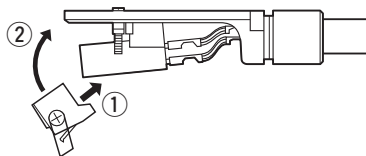
一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、矢印①の方向に押し下げてから矢印②の方向にやさしく引き抜いてください。



- 針を交換する前に、本機とアンプの電源を切ってください。
- 針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除いてください。
- ヘッドシェルをトーンアームから外すと針の交換がしやすくなります。

### ■ 交換針の取り付けかた

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、交換針の引っ掛け部分を矢印①の方向に向けてカートリッジ本体の長穴の奥に入れた後、矢印②の方向にパチンというまで押し上げてください。

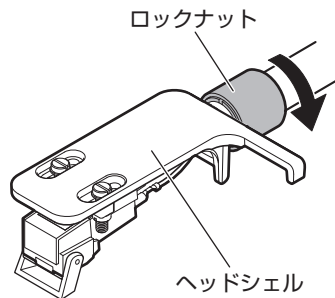


## カートリッジの交換について

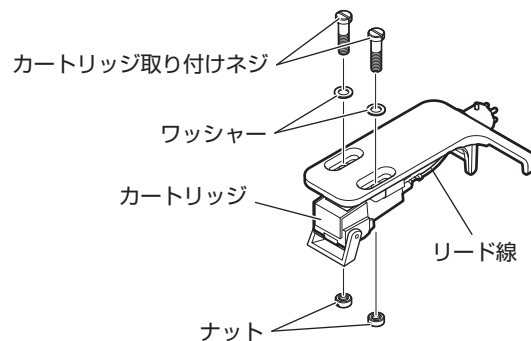
本機のカートリッジを交換する場合は、質量が約 5g~13g(約 59mN~128mN)のカートリッジをお使いください。

### ■ カートリッジの取り外しかた

- 1 ロックナットを矢印の方向に回して、ヘッドシェルを取り外す。



- 2 カートリッジ取り付けネジを取り外す。
- 3 カートリッジ側に接続しているリード線を取り外す。



#### ご注意

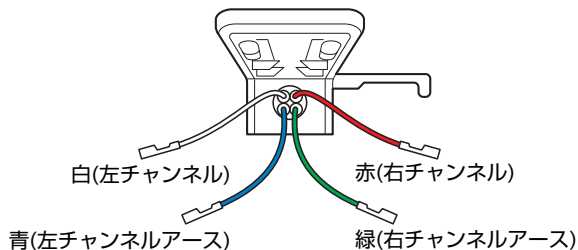
- 針先保護のため、カートリッジの針カバーを下げたからおこなってください。



## ■ カートリッジの取り付けかた

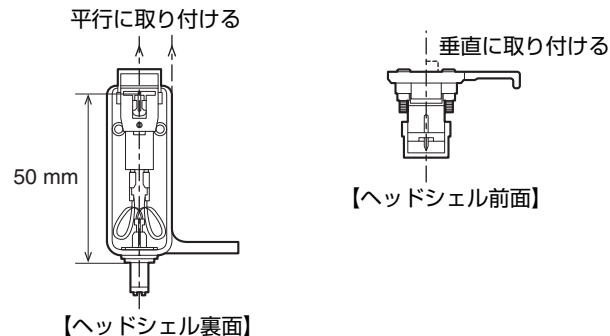
### 1 リード線をカートリッジに接続する。

- リード線は次のように色分けされています。お使いのカートリッジの表示や取扱説明書を参照し、正しく接続してください。



### 2 カートリッジをヘッドシェルに取り付ける。

- 次の図のように、ヘッドシェルとトーンアームの接合部から針先までの距離が 50mm になるようにカートリッジを取り付けると、所定のオーバーハングが得られます。(本機のオーバーハングは 16mm です)



- カートリッジを交換した場合は、針圧およびアンチスキューティングの調整をおこなってください。(P.15 ページ)
- 内蔵のフォノイコライザーは MM カートリッジにのみ対応しています。MC カートリッジは MM カートリッジに比べ出力電圧が低くなります。市販の MC カートリッジを取り付けてお使いの場合、EQUALIZER ON/OFF スイッチを“OFF”に設定してください。また、昇圧トランスやヘッドアンプなどのご使用をおすすめします。



## 登録商標について



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、DEI Sales, Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.



## 主な仕様

---

### ■ ターンテーブル部

駆動方式:	ベルトドライブ
モーター:	DC サーボモーター
回転速度:	33-1/3、45、78 回転
ワウ・フラッター:	0.1% WRMS
S/N 比:	62dB

### ■ トーンアーム部

トーンアーム:	スタティックバランス
アーム有効長:	220mm
オーバーハング:	16mm
針圧可変範囲:	0~4.0g 1 目盛り 0.1g
適合カートリッジ自重:	5.0~13.0g



## ■ カートリッジ部

カートリッジ:	MM 型
出力電圧:	イコライザーオフ時: 2.5mV イコライザーオン時: 150mV
最適針圧:	2.0g
交換針品番:	DSN-85

## ■ AC アダプター部 (外部電源仕様)

製造元:	SHENZHEN FU JIA APPLIANCE CO., LTD.
住所:	5F, Xihengchangrong (Xinghui) Technical Industrial Park F Dong, Hua Ning Rd. Dalang Street, Longhua Dist, Shenzhen, China
製品名:	FJ-SW1202000N
入力電圧:	100~240V AC
入力電圧周波数:	50/60Hz
出力電圧:	12.0V
出力電流:	2.0A
出力電力:	24.0W
平均効率:	86.7%
低負荷効率(10%):	83.5%
無負荷電力:	0.09W



## ■ Bluetooth 部

音声フォーマット:	aptX Adaptive/aptX HD/aptX/SBC
オーディオ・アプリケーション:	Classic Audio(AVRCP)- TX のみ
送信出力:	Power Class 1
一般通信範囲:	見通し距離 30m *1

- \*1 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

## ■ 総合

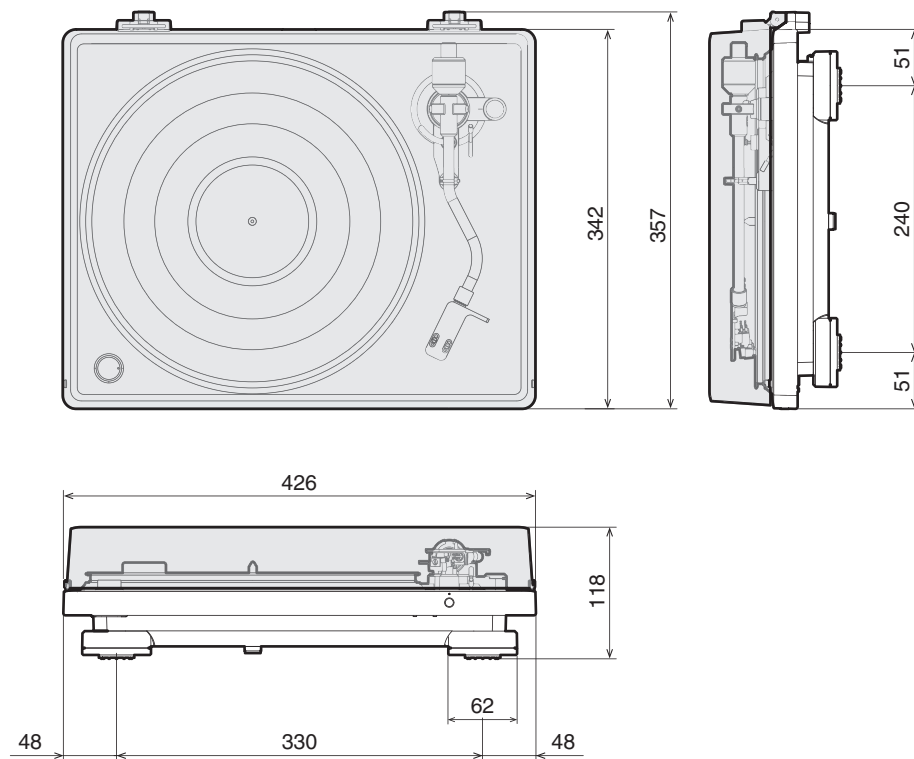
動作温度:	5℃~35℃
消費電力:	10W
スタンバイ時の消費電力 *2:	0.5W 以下

- \*2 プラッターが停止して約 15 分以上経過した場合

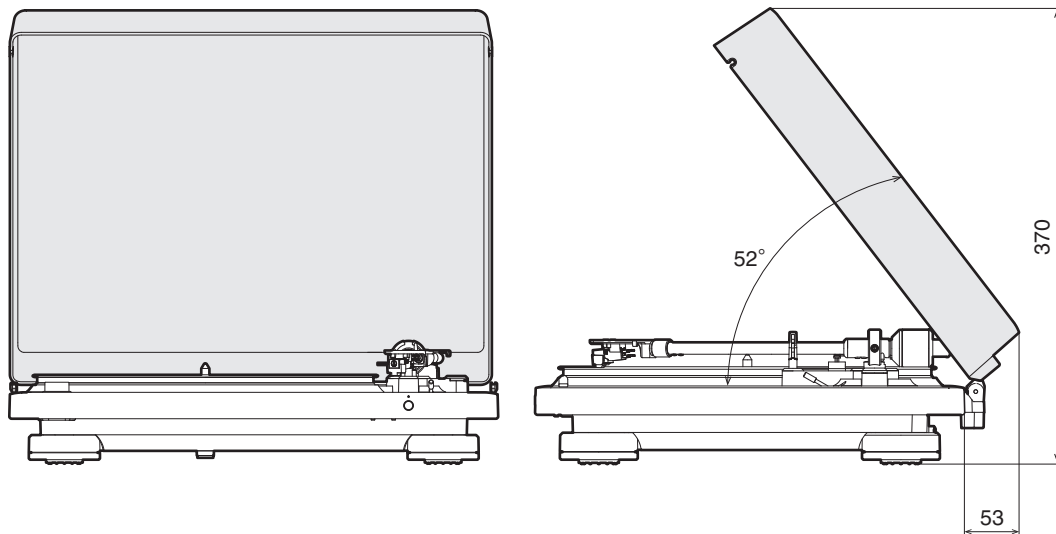
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。



## ■ 寸法(単位:mm)



【ダストカバーオープン時】



■ 質量 : 6.2kg(ダストカバーを含む)

**DENON®**

[www.denon.com](http://www.denon.com)

3520 11036 00AS